

## 6/6～9 横浜市の産業用ヒーターメーカー「FOOMA JAPAN 2023」出展

22年で累計6,743社（※）の新規顧客に合わせたノウハウをもとに、食品製造業へ電気代節約と生産性向上を提案

産業用ヒーターを製造・販売する株式会社スリーハイ（本社：横浜市都筑区、代表取締役：男澤 誠 以下、スリーハイ）は、2023年6月6日（火）～9日（金）までの4日間、東京ビッグサイト東展示棟全館にて開催される、一般社団法人 日本食品機械工業会主催の世界最大級の食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2023」にブースを出展しますので、お知らせいたします。「FOOMA JAPAN 2023」は、食品産業界の課題解決を加速させる食品製造に関わるソリューションが揃う、世界最大級の展示会です。スリーハイは本展示会において、食品製造業に向けた、電気代節約や生産性向上に向けたソリューションをご提案いたします。（※株式会社スリーハイの新規顧客数（2000年～））

### ヒーターで粘度を低減

流動性が向上!!

ヒーターの「熱」で粘度をコントロール

- 生産効率の向上
- 品質の維持
- 電気代の削減

180℃コンタクト用ヒーター  
ジャケットタイプ

ホットタンク用ヒーター  
シートタイプ

一斗缶・ペール缶用ヒーター  
ホットプレートタイプ

配管用ヒーター  
ベルトタイプ

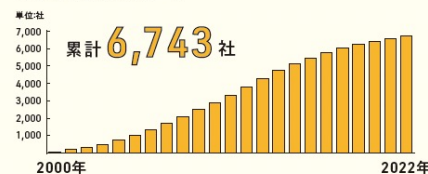
FOOMAJAPAN2023で出展予定のスリーハイの製品。スリーハイではジャケットタイプ、ベルトタイプなど多様な形状のヒーターを製造・販売。適材適所による温度管理を実施することで、電気代の節約につなげることができる。

### 私たちに寄せられる「熱」の困りごと

私たちのもとに寄せられるご相談の一例です。  
中には、ヒーターが解決策になるとは知らずにご相談されるお客様もいます。

- 配管の温度が下がってしまう
- 電気代を節約したい
- 塗料がうまく溶けない
- 雪を溶かしたい
- 蒸気で目の前が曇ってしまう

新規顧客数(2000年～)



スリーハイに寄せられる「熱」の困りごとは様々。中には、ヒーターが解決策になるとは知らずに相談する顧客も。2000年からの新規顧客数は累計6,743社。

## 食品製造業を取り巻く経営課題

食品製造業における経営課題として、「原料や電気代等、製造コストの高騰」「生産ラインにおける生産性向上」が挙げられます。特に、燃料価格の高騰が続くことによる電気料金の値上げは、食品製造業の製造コストを圧迫する大きな要因となっています。

帝国データバンクが実施した「電気料金値上げに関する企業の実態アンケート（2023年4月）」では、電気料金の総額は1年前と比べ39.4%増加しているほか、電気料金の増加分を販売価格やサービス料金にどの程度転嫁できているかという質問では『全く価格転嫁できていない』と回答した企業が57.2%と、6割近くを占めているという結果がでています。（参考：株式会社帝国データバンク「電気料金値上げに関する企業の実態アンケート（2023年4月）」<https://www.tdb-di.com/special-planning-survey/oq20230418.php>）

食品製造業では、原料の粘度や鮮度管理のために、ヒーターを使った温度管理をしています。しかし、既製品のヒーターは自社の製造現場にあったものを見つけることが難しく、必要以上に大きなヒーターを使って温めているなど、非効率な温め方になっていることがあります。

## 食品製造業に対するスリーハイの強み

スリーハイは、「ものを想う。ひとを想う。」という企業理念のもと、産業用ヒーターの製造・販売を通じ、食品製造業に対する業務改善を提案しています。

### 強み① オーダーメイドプランを提案

スリーハイの製品は一つひとつが熟練した職人によるオーダーメイドで、食品製造業の企業が抱えている個別具体的な課題にあわせ、製品ひとつからご提案することが可能です。製造現場にあわせた形状・素材をきめ細かくご提案できるほか、最小のエネルギー効率で最大の効果となる温度管理をするための電力値までご提案可能です。

### 強み② 温度管理を通じたトータルコーディネートが可能

スリーハイは「温める」ヒーターが主力製品ですが、温度管理のために必要な温度コントローラーや、熱を遮断する断熱材など、温度管理に必要なものをトータルでご提案しています。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社スリーハイ 営業統括本部 松本 英嗣（まつもと えいじ）  
〒224-0023 神奈川県横浜市都筑区東山田4-42-16  
TEL: 0120-972-128 / e-mail: pr@threehigh.co.jp



## 食品製造業での生産性向上提案事例

スリーハイの課題解決力を用いて、食品製造業で行っている生産性向上事例をご紹介します。

### ① IBCコンテナ用の国産小型ヒーター

食品を運ぶ際、小型のIBCコンテナを利用する食品製造業が増えています。材料の粘度や鮮度管理のため、ヒーターをコンテナにつけることがあります。IBCコンテナ用の既製品ヒーターは海外製が多く、また比較的高価格であることが課題です。

そこでスリーハイでは、小型のIBCコンテナに利用できるヒーターを開発しました。既存の海外製品より安価であるほか、万一故障した際も国内で製造しているため、速やかな修理対応が可能です。



製品の完成予想図：IBCコンテナを最適な温度環境にできる、ジャケットタイプのヒーター

### ② 材料を少量保管する際に利用可能、省エネで電気代節約：パール缶専用底面ヒーター

食品製造の現場では、少量の材料を一時的にパール缶に入れ、倉庫に保管しています。材料の粘度や鮮度管理のため、倉庫全体にヒーターを設置していますが、倉庫に入れる材料が少ない場合、部屋全体を温度管理することで無駄な電力を消費してしまいます。

そこで、スリーハイが開発したパール缶専用底面ヒーター「GOEMON-150」は、このパール缶の底部のみを温める手法を用いることで、部屋全体を温めるよりも省エネで温度管理をすることが可能となりました。

#### GOEMON-150

食品会社や建築会社から「工場での加工・作業時に缶内の液体（アスファルト、オイル、塗料、チョコレート...）を一度に温めたい!」という声をいただき、生まれたのが「GOEMON-150」です。最大4缶の一斗缶やパール缶を1つのヒーターで加熱でき、消費電力の削減にもつながります。



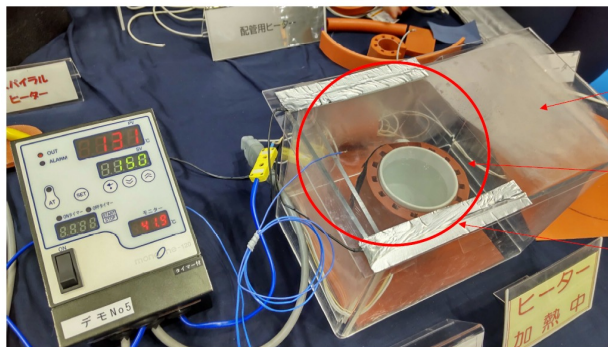
製品例：パール缶だけを最適な温度環境にできる、底面ヒーター（GOEMON-150）

▲その他、スリーハイの製品を活用した電気代節約方法について、スリーハイのブログで公開しています。

### ③ 温度管理で食品材料の粘度や湿度を管理、生産性向上へ

チョコレートやカレーなど、温度によって流動性が変化する食材については、配管やタンクにヒーターを巻き、適切な温度管理をすることで、配管内の食材の流動性を向上させることができます。また、食品製造ラインでは、湯気が発生するなど急激な温度変化により、結露が発生する箇所もあります。そのような場合、ヒーターを使用して結露が発生しないような局所的な温度管理を実施することで、結露を防止することができます。本展示会でも、結露発生をヒーターを用いて防止する実験を行う予定です。

スリーハイでは、これまで多くの食品製造業の現場で配管を見てきた経験から、現場に適したヒーターの形状や材料、適切な温度管理など、トータルでの提案を行っています。



ヒーターなし → 結露アリ  
ヒーターあり → 結露ナシ  
透明ヒーター貼付け

スリーハイ製品を利用した結露発生実験の様子。ヒーターがある箇所は結露が発生していないが、ヒーターがない箇所は結露で透明ガラスが真っ白になっている。



スリーハイ製品を利用したヒーターでパール缶を温めている実験の様子。画面はサーモグラフィで熱の温度を示しているもの

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社スリーハイ 営業統括本部 松本 英嗣（まつもと えいじ）  
〒224-0023 神奈川県横浜市都筑区東山田4-42-16  
TEL: 0120-972-128 / e-mail: pr@threehigh.co.jp



## 出展責任者 松本 英嗣からのメッセージ



株式会社スリーハイ  
営業統括本部 松本 英嗣（まつもと えいじ）

FOOMA JAPAN 2023で出展責任者を務める、株式会社スリーハイ 営業統括本部の松本です。

現在、食品製造業の皆様を取り巻く経営環境は、原材料費の高騰や電気代高騰に代表されるように、製造コストの上昇が大きな課題となっています。また、SDGsに代表されるように、持続可能な経済活動の実現のため、製造現場の省エネルギー化も求められています。

スリーハイは、横浜市都筑区に本社を置く、従業員40名の町工場です。本社は横浜ですが、これまで日本全国だけでなく、世界のお客様の「熱の困った」の解決に取り組んでまいりました。2000年からの新規顧客数は累計6,743社になっています。

これまで数多くのお客様の「熱」に関する課題解決に向き合ったノウハウを元に、食品製造業の生産性向上により貢献したいと考えております。

展示会会場では、スリーハイの製品を実際に見て・触って確認できる機会をご用意しております。皆様のご来場をお待ちしております。

## 出展情報・株式会社スリーハイについて

名称：FOOMA JAPAN 2023

日時：2023年 6月6日（火）～9日（金） 午前10時～午後5時

会場：東京ビッグサイト 東1～8ホール 4A-13ブース（東4ホール）

住所：東京都江東区有明3-21-1

参加：入場無料（事前登録制）

【来場事前登録方法】

主催：一般社団法人 日本食品機械工業会

ご来場には、来場事前登録（クイックパス登録）が必要です。

URL：<https://www.foomajapan.jp/>

<https://www.foomajapan.jp/visitors/quickpass.php>



株式会社スリーハイ  
THREE HIGH CO.,LTD.

株式会社スリーハイは、「ものを想う。ひとを想う。」を企業理念に、産業用ヒーター及び温度コントローラ等の製造、販売をしています。結露・凍結防止、加熱、保温などお客様のご要望にあわせたオーダーメイドの製品をご提案し、国内・海外の企業様の「困った！」を熱のチカラで解決してきました。ヒーターのエキスパートが日本全国の現場に駆け付け、お客様に寄り添うサービスをご提供いたします。

会社名：株式会社スリーハイ

代表者：代表取締役 男澤 誠

所在地：神奈川県横浜市都筑区東山田4-42-16

設立：1990年5月24日

事業内容：産業用ヒーター及び温度コントローラ等の製造及び販売

公式サイト：<https://www.threehigh.co.jp/>

公式Facebook：<https://www.facebook.com/threehigh/>

公式Instagram：<https://www.instagram.com/threehigh.official/>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社スリーハイ 営業統括本部 松本 英嗣（まつもと えいじ）

〒224-0023 神奈川県横浜市都筑区東山田4-42-16

TEL: 0120-972-128 / e-mail: [pr@threehigh.co.jp](mailto:pr@threehigh.co.jp)

